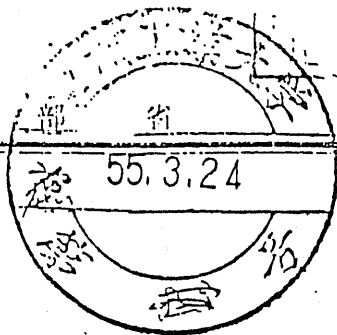


文

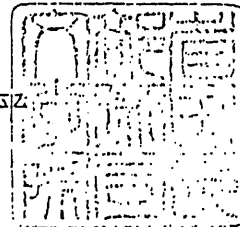


文学情報 167号
昭和55年3月19日

東京工業大学長 殿



文部省学術国際局長
篠澤 公平



学術情報システムに関する答申において
示された拠点図書館について (通知)

このたび、学術審議会から新しい学術情報システムの在り方に関する答申が文部大臣に対して行われましたことは既に御承知のことと存じます。この中で、今後構成されるべき学術情報システムにおいて、一次情報の収集・提供機能の重要性が指摘されており、その整備については、大学図書館の機能の充実と再編成等によることを基本とすることとされております。特に外国雑誌等の体系的、網羅的整備については分野別拠点図書館の拡大・充実によつて対処するのが適当であるとされています。

今後、このたびの答申の趣旨に基づき我が国の分野別拠点図書館を全国的見地から整備充実することが必要と考えます。

さて、貴学附属図書館においては、既に昭和52年度から理工学系分野について、国内に欠落している外国雑誌を中心とする資料の体系的収集を分担し、及び全国の研究者等への提供サービスの実施に着手していただいで参りました。

については、答申の趣旨にのつとり、貴学附属図書館において、引き続き当該分野の拠点図書館の機能を担つていただきたくお願い申し上げます。

そのため、貴職におかれましては、拠点図書館機能の円滑な運営について特段に御配慮くださるようお願いいたします。

なお、文部省においても、この答申を受けて従来から進めております措置をなお一層推進し、拠点図書館機能の整備充実に努める所存であります。

おつて、参考までに答申を1部送付しますので御活用ください。